

2018年度通常総会について

2018年度通常総会は2018年4月27日に開催され、以下の議案がすべて原案通り承認されましたので、お知らせします。

第1号議案：2017年度事業報告の件

第2号議案：2017年度決算報告および監査報告の件

第3号議案：2018年度-2019年度新役員承認の件

報告1：2018年度事業計画

報告2：2018年度収支予算

(第1号議案)

2017年度事業報告

事業番号：公1（1本のみ）

事業の内容：オペレーションズ・リサーチの研究・普及啓発を行う事業

【研究発表会・シンポジウム等の開催】

□事業の趣旨・内容

本事業は、研究発表会・シンポジウム等を通じて、オペレーションズ・リサーチの研究および応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

1. 研究発表会

(1) 春季研究発表会

3月15日、16日、17日の3日間、沖縄県市町村自治会館（沖縄市旭町）にて開催

実行委員長：山下英明（首都大学東京）

発表件数220件 参加427人

・創立60周年記念大会

・特別講演（一般公開）

1) 「ANA Cargoの航空貨物戦略」

外山俊明（全日本空輸（株）執行役員貨物事業室長／（株）ANA Cargo代表取締役社長）

2) 「人工知能はわれわれの生活をどうかえるか」

松原 仁（公立はこだて未来大学）

3) 「電車・駅の旅客流動を高精度に推定する数理計画モデルの作成プロセス—2020東京オリンピック・首都圏公共交通ネットワーク・新宿駅—」：近藤賞受賞記念講演

田口 東（中央大学）

(2) 秋季研究発表会

9月14日、15日の両日、関西大学（千里山）にて開催

実行委員長：木村俊一（関西大学）

発表件数100件 参加366人

・特別テーマ「学の実化を目指して」

・特別講演（一般公開）

1) 「学の実化から世界へ」

前田 裕（関西大学副学長）

2) 「マルコフ連鎖—安定性のトリニティをめぐって—」：研究賞受賞記念講演

増山博之（京都大学）

- 3) 「ノルムを用いた最適化モデリング」：研究賞受賞記念講演
後藤順哉（中央大学）

2. シンポジウム

- (1) 春季シンポジウム
創立60周年記念大会開催のため、開催なし。
- (2) 秋季シンポジウム
9月13日、関西大学（千里山）にて開催
実行委員長：大西匡光（大阪大学）
テーマ「機械学習が拓く新しいビジネスの世界」 講演6件 参加者105人

3. ORセミナー

- (1) 第1回「Python言語によるビジネスアナリティクス」
・5月13日、(株)構造計画研究所にて開催
・コーディネーター：(株)構造計画研究所 斎藤 努
・司会：東京海洋大学 久保幹雄
・講師：斎藤 努（(株)構造計画研究所）、並木 誠（東邦大学）、久保幹雄（東京海洋大学）、小林和博（東京理科大学）、橋本英樹（東京海洋大学）
・参加者39名
- (2) 第2回「地理情報システム入門」
・6月17日、(株)構造計画研究所にて開催
・コーディネーター／司会：中央大学 鳥海重喜
・講師：貞広幸雄（東京大学）、渡部大輔（東京海洋大学）、鳥海重喜（中央大学）
・参加者29名
- (3) 第3回「ExcelソルバーではじめるOR」
・10月7日、(株)構造計画研究所にて開催
・コーディネーター／司会：中央大学 後藤順哉
・講師：後藤順哉（中央大学）、堀田敬介（文教大学）
・参加者25名
- (4) 第4回「地理情報システム入門」
・1月20日、南山大学（名古屋）にて開催
・コーディネーター／司会：中央大学 鳥海重喜
・講師：貞広幸雄（東京大学）、渡部大輔（東京海洋大学）、鳥海重喜（中央大学）
・参加者35名

4. 企業事例交流会

- (1) 春季企業事例交流会（第39回）を春季研究発表会にて開催
(2) 秋季企業事例交流会（第40回）を秋季研究発表会にて開催

5. 新宿OR研究会

昭和55年創設以来、年間10回の例会を開催しており、2018年2月例会が通算第375回。テーマはOR関係の最近の動向に留まらず会員推薦の各界の話題など極めて広範、かつ時宜に適ったもので、メンバーの啓発、懇親を行っている。会誌・ホームページ・メールマガジンに開催案内を掲載し、会員の幅広い参加を呼びかけている。現世話人は川中子敬至（足利工業大学）。

【機関誌、論文誌の刊行及びインターネット等を利用した情報提供活動】

□事業の趣旨・内容

本事業は、機関誌・論文誌の刊行及びインターネット等を利用した情報提供活動を通じて、オペレーションズ・リサーチの研究および応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

1. 機関誌

機関誌「オペレーションズ・リサーチ」を下記のとおり発行した。

発行年月日	巻	号	発行部数
2017年3月1日	62	3	2,400部
2017年4月1日	62	4	2,400部
2017年5月1日	62	5	2,400部
2017年6月1日	62	6	2,400部
2017年7月1日	62	7	2,400部
2017年8月1日	62	8	2,400部
2017年9月1日	62	9	2,400部
2017年10月1日	62	10	2,400部
2017年11月1日	62	11	2,400部
2017年12月1日	62	12	2,400部
2018年1月1日	63	1	2,400部
2018年2月1日	63	2	2,400部

2. 論文誌

論文誌（Journal of the Operations Research Society of Japan: JORSJ）、和文論文誌（Transactions of the Operations Research Society of Japan: TORSJ）を下記のとおり発行した。

発行年月日	巻	号	発行部数
2017年4月	60	2	60部
2017年7月	60	3	60部 ※60周年記念号正会員に発行1,800部（別途）
2017年10月	60	4	60部
2017年12月（TORSJ）	60		60部
2018年1月	61	1	60部 ※60周年記念号正会員に発行1,800部（別途）

なお、論文誌はインターネット上で無料公開しており、発行部数は紙媒体での部数のみを示している。

【研究部会による調査研究とその公表活動】

□事業の趣旨・内容

本事業は、研究部会による調査研究とその公表活動を通じて、オペレーションズ・リサーチの研究および応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。調査研究にあたっては、専門の研究部会を組成し、主査・幹事が中心となり研究希望者を公募して行っている。

	常設部会	主査, 幹事	メンバー	開催(合同)	内 容	場 所
1	待ち行列	塩田茂雄 (千葉大学) 佐久間 大 (防衛大学校)	28名	8回 (1回)	計8回の部会を開催し、発表内容は、待ち行列、情報通信ネットワーク、生産システムなど多岐にわたっている。このうち1回は4部会(「確率モデルとその応用」, 「システム信頼性」, 「待ち行列」, 「不確実性環境下の意思決定モデリング」)の合同で実施された。また、2018年1月17~19日に「2017年度待ち行列シンポジウム」を開催した。	東京工業大学 大岡山キャンパス
2	数理計画 (RAMP)	土谷 隆 (政策研究大学院大学) 北原知就 (東京工業大学)	35名	1回	10月12, 13日に筑波大学春日講堂にてシンポジウムを開催した。テーマは「機械学習と最適化」, 「タイムテーブルングと最適化」, 「連続最適化アルゴリズムの新展開」, 「離散アルゴリズムとその周辺」である。この他に、2件の特別講演を設け、海外からの講演者を招いた。このように、国内外の様々な分野の第一線でご活躍の先生方にご講演頂いた。	筑波大学 春日講堂
3	評価のOR	廣津信義 (順天堂大学) 施建 明 (東京理科大学)	10名	5回 (1回)	定例研究会では、毎回2名の講演者を招くことで、DEAなど評価手法に関する講演を行った。学生発表会を企画し11件の発表に学生奨励賞を授与した。関西支部と共催でシンポジウム「表彰とOR」を開催した。延参加者103名。	東京、大阪、 浜松
4	意思決定法	西澤一友 (日本大学) 杉浦 伸 (名城大学)	26名	5回	7月、8月、10月、12月、1月に研究部会を実施した。意思決定法の理論と新しい手法に対する理解を深めるとともに、政策評価やマネジメントへの柔軟かつ実用的な適用性を高めることにつとめた。	日本大学桜門 会館、名城大学、 大阪商業大学
5	サプライ チェーン戦略	竹田 賢 (青山学院大学) 草刈君子	延参加者 70名 平均 23名	3回	サプライチェーンにおける経営戦略、運用戦略、戦略プロセスに対しOR手法の現実適用について事例と理論の両面から研究する。延参加者70名(平均23名)である。活動内容はscsr.jpにて一般公開している。	青山学院大学
	研究部会	主査, 幹事	メンバー	開催(合同)	内 容	場 所
1	アグリサプライチェーンマネジメント	蓮池 隆 (早稲田大学) 加島智子 (近畿大学)	6名	5回	農作物の安定供給を合理的に行うために、作り手から消費者までの「食のサプライチェーン」を数理的に検証し、また情報科学技術を駆使した情報収集・活用システムについて客観的かつ多角的立場から議論した。	東京、北海道、 仙台、沖縄

2	最適化の基盤とフロンティア	岡本吉央 (電気通信大学) 奥野貴之 (理化学研究所)	10名	6回	定例会合を5回開催し、計10件の講演に、延べ132名が参加した。また、未来を担う若手研究者の集いを開催し、一般講演40件、特別講演2件、参加者183名を数える盛会となった。一般講演から、最優秀発表賞2件、優秀発表賞8件の表彰も行った。	沖縄県市町村自治会館、筑波大学、東京理科大学、電気通信大学
3	数理的発想とその実践	杉原一臣 (福井工業大学) 野際大介 (福井工業大学)	11名	5回	オペレーションズ・リサーチの根底にある「数理的アイデア」をキーワードとして、北陸地区において5回の研究集会を開催し、計14件の研究報告があった。周辺領域に関する講演も多数あり、分野の垣根を越えた活発な意見交換が行われた。延参加者52名。	福井工業大学、金沢学院大学サテライトキャンパス、サイエンスヒルズこまつ、他
4	離散アルゴリズムの応用と理論	牧野和久 (京都大学) 井出陽子 (三菱重工業(株)) 澄田範奈 (国立情報学研究所)	14名	5回 (1回)	真に実用的なアルゴリズムの開発、またそれらを支える基礎理論を構築することをテーマに、企業と大学の両方から講師を招聘して5回の研究会を開催した。講演は23件、延参加者は約210名。	京都大学、国立情報学研究所
5	ORによる大規模インフラストラクチャー分析	三浦英俊 (南山大学) 渡部大輔 (東京海洋大学)	20名	11回	地域の持続可能的発展を支えるインフラストラクチャーの要件、OR技法を用いた大規模インフラストラクチャーの計画、インフラストラクチャーにおける危機管理等の諸問題をORの視点から取り組んだ。	日本グローバル・インフラストラクチャー研究財団会議室
6	確率モデルとその応用	堀口正之 (神奈川大学) 來島愛子 (上智大学) 吉良知文 (群馬大学)	12名	8回 (2回)	多くの方のご支援ご協力によって本年度の講演は13件、合同開催や国際会議参加等もあり国内外の研究者との交流とともに、関連する各種研究集会との連携もあってメンバー間の研究討議も充実したものとなりました。	上智大学四谷キャンパス、神奈川大学横浜キャンパス・平塚キャンパス
7	不確実性環境下の意思決定モデリング	北條仁志 (大阪府立大学) 中西真悟 (大阪工業大学)	18名	5回 (2回)	不確実性を伴う状況下で意思決定を行うための数理的アプローチとして、特に待ち行列、信頼性・保全性、生産・在庫、ゲーム理論、ファイナンス等に着目し、最近の研究動向に関する講演を中心に情報交換を行った。延参加者97名。	大阪工業大学梅田キャンパス、サムティ・フェイム新大阪
8	エネルギーミックスの諸問題とOR	中川慶一郎 (株)NTTデータ) 宇田川佑介 (株)構造計画研究所)	15名	6回	エネルギーシステムを対象にORを活用している研究者、企業様に研究成果、事例を報告頂いた。気象予測技術に関する研究発表を頂くなどOR技術と別の最先端技術の知見を融合することも目指し活動している。	株式会社構造計画研究所
9	オリンピック、パラリンピックとOR	鳥海重喜 (中央大学) 田中健一 (慶應義塾大学)	14名	5回	2020年東京オリンピック・パラリンピック開催時における輸送・交通の問題や渋滞緩和に関する研究を行った。さらに、観戦客の緊急搬送体制や、観戦客への情報提供に関する研究などを、幅広く追求した。	中央大学後楽園キャンパス

10	システム 信頼性	木村光宏 (法政大学) 田村信幸 (法政大学)	9名	6回 (1回)	信頼性理論の深化と応用について、6回の講演会・研究発表会を開催した。特に部会メンバー・他学会のご協力により、著名な研究者を海外から複数名お迎えでき、研究者間の交流もこれまで同様に行うことができた。	法政大学、広島大学、他
11	データサイエンスとマーケティング分析	鈴木秀男 (慶應義塾大学) 朝日弓未 (東海大学) 横山 暁 (青山学院大学)	12名	5回	ヘアサロンチェーンのID付POSデータを提供した「データ解析コンペティション」を開催した。22チームのエントリー、延べ約250人の参加者を得た。消費者属性と購買データに基づくマーケティング分析の発表と得られた知見について議論した。	慶應義塾大学 矢上キャンパス、青山学院大学 青山キャンパス、東海大学 高輪キャンパス
12	危機管理と防衛のOR	宝崎隆祐 (防衛大学校) 片山隆仁 (防衛技術協会)	20名	9回	東京オリンピック等大規模イベントにおける危機管理に関する問題解決を目指している。大学関係者が少ないため10月に宿泊による研究会を行い懇親を深め、幅広いアプローチ法を模索している。延参加者数約160名。	政策研究大学院大学
	研究グループ	主査、幹事	メンバー	開催	内 容	場 所
1	地域課題解決のOR	鈴木 勉 (筑波大学) 石井儀光 (国立研究開発法人 建築研究所)	50名	2回	サマー・セミナーを8月5日に筑波大学で開催し、13件の発表と39名の参加者があった。ウインター・ワークショップを12月9,10日に南山大学で開催し、32件の発表と81名の参加者があった。	筑波大学、南山大学

【表彰活動】

□事業の趣旨・内容

本事業は、表彰活動を通じて、オペレーションズ・リサーチの研究および応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

1. 春季表彰

- (1) 第42回普及賞
 - ・山田 茂 (鳥取大学)
- (2) 第41回実施賞
 - ・九州大学マス・フォア・インダストリ研究所 富士通ソーシャル数理共同研究部門
- (3) 第18回業績賞
 - ・水野真治 (東京工業大学)
 - ・大澤義明 (筑波大学)
- (4) 感謝状授与
 - ・中国電力株式会社

2. 秋季表彰

- (1) 第7回研究賞
 - ・増山博之 (京都大学)
 - ・後藤順哉 (中央大学)

- (2) 第7回研究賞奨励賞
 ・河瀬康志（東京工業大学）
 ・佐々木康朗（北陸先端科学技術大学院大学）
- (3) 第37回事例研究賞
 ・巴波弘佳（関西学院大学）
- (4) 第7回論文賞
 ・ブルノ・F・ロウレンソ（成蹊大学）、村松正和（電気通信大学）、土谷 隆（政策研究大学院大学）
- (5) 第35回学生論文賞
 ・前田謙太郎（修論 東京工業大学）
 ・田村隆太（修論 東京農工大学）
 ・矢島萌子（修論 東京工業大学）
 ・高澤陽太郎（修論 東京工業大学）
 ・中島 蒼（卒論 東京大学）
 ・伊東真由（卒論 名古屋大学）

【支部活動】

1. 北海道支部

活動	年月日	場所	内 容
総会	2017/4/7	小樽商大札幌 サテライト	2016年度事業報告、決算、2017年度事業計画、予算、役員
支部講演会	2018/2/23	北海道大学	「マルチエージェント社会シミュレーションの可能性」野田五木樹（産業技術総合研究所） 「Webと音楽情報処理が切り拓く未来」濱崎雅弘（産業技術総合研究所） 参加者：15名

2. 東北支部

活動	年月日	場所	内 容
総会	2017/3/21	東北大学	2016年度事業報告、2016年度決算、2017年度事業計画、東北支部役員についてなど
講演会	2017/3/21	東北大学	寛 宗徳氏（福島大学） 「アクティブ・ラーニングによる経営工学教育～クラウド系生産システムシミュレータを用いた生産システム設計授業～」
セミナー	2017/11/25～26	東北大学	東北ORセミナー若手研究交流会 東北地方を中心とした若手研究者の育成と学生会員数の増加を図るための研究発表会。1泊2日の合宿形式で、主として学生に研究発表と人的交流の場を提供します。個々の大学や研究室を超えた地域全体での若手研究者育成、および研究者同士の共同研究も視野に入れて東北地方の包括的な研究活性化を目的としている。今年度は、2017年11月25日（土）、26日（日）に蔵王センタープラザ（山形県山形市）で開催した。47名（うち学生39名）の参加者を集めて、盛況のうちに無事終了することができた。詳細は下記サイト参照。 http://www.akita-pu.ac.jp/system/mse/mis/inakawa/public/tors/seminar2017/program.html
研究会	なし		

会議	2017/9 2017/11	メール	東北ORセミナー若手研究交流会実行委員会
----	-------------------	-----	----------------------

3. 中部支部

活動	年月日	場所	内 容
総会	2017/3/4	愛知県立大学サテライトキャンパス	2017年度事業計画・予算・役員選出、審議・承認
第44回支部研究発表会	2017/3/4	愛知県立大学サテライトキャンパス	13件の発表、参加者54名
特別講演	2017/3/4	愛知県立大学サテライトキャンパス	「最小木問題とその周辺」講師 増山 繁（豊橋技術科学大学）
第14回日本OR学会中部支部シンポジウム	2017/9/6	愛知県立大学サテライトキャンパス	「準モンテカルロ法の理論とOR」：①「準モンテカルロ法の使い方」（諸星穂積（政策研究大学院大学））、②「準モンテカルロ法の基礎から工学的応用の可能性まで」（合田 隆（東京大学大学院工学研究科））、③「フィナンシャル・エンジニアリングにおける準モンテカルロ法の効率化」（今井潤一（慶応義塾大学理工学部））、④「64ビット高性能線形擬似乱数発生法の開発」（原瀬 晋（立命館大学理工学部））
支部講演会	2017/6/17	愛知大学・名古屋キャンパス 808号室	①「Multi-State Network Reliability Evaluation」（Ming J Zuo, University of Alberta, Canada）、②「Heuristics for 2D and 3D packing problems」（Yannan HU, University of Nagoya, Aichi）、参加者26名
支部講演会	2017/12/16	愛知県立大学サテライトキャンパス	①「不確実状況下における多目的計画問題に対する意思決定手法」（名古屋市立大学矢野均）、②「Togni 試薬に似た化合物に対する機械学習を用いた安定性自動判別を目指して」（南山大学小市俊悟）、参加者34名
支部研究会	2017/7/24	金城学院大学サテライトキャンパス	「Minimizing Average Procurement Unit Cost of a Rotorcraft Fleet through Reliability Improvement」（Ms. Vidhyashree Nagaraju and Prof. Lance Fiondella, University of Massachusetts Dartmouth）、参加者17名
C3POセミナー	2017/10/25	名古屋工業大学 2号館701B室	「グローバルで勝負する日本企業のIoT活用」（柏田淳一氏（アビームシステムズ株式会社））、参加者22名
C3POセミナー	2018/1/29	愛知県立大学サテライトキャンパス	「研究における失敗とひらめき」（井田民雄（近畿大学バイオコークス研究所長））、参加者14名
SSOR2017	2017/8/31～9/1	愛知県蒲郡市公立学校共済組合 蒲郡保養所 蒲郡荘	キーノート①「マルコフ決定過程の理論と応用」（中出康一（名古屋工業大学））、②「ORスピリッツ生涯研究者を目指して」（金子美博（岐阜大学））、学生研究発表30件、参加者47名（宿泊者数：36名、発表件数30件）

4. 関西支部

活動	年月日	場所	内 容
記念講演会	2017/3/11	関西学院大学大 阪梅田キャンパ ス	「複数財に対する繰り返しオークションと離散凸解析の繋がり」塩 浦昭義（東京工業大学） 参加者：23名
第1回支部総会	2017/3/11	関西学院大学大 阪梅田キャンパ ス	2016年度事業報告・決算および2017年度事業計画・予算などが承 認された。出席者：21名。委任状：45通
支部若手研究発 表会	2017/10/28	関西大学うめき たラボラトリ	1. ポスターセッションA（前半） 2. ポスターセッションB（後半） 3. 特別講演：小林宏樹（大阪ガス）、梅谷俊治（大阪大学） 発表論文数：11件、参加者：28名 優秀研究発表賞：3件
支部シンポジウ ム	2017/11/11	関西大学うめき たラボラトリ	テーマ「表彰とOR」 [1]「筑波大学での倉谷賞候補選出方法」山本芳嗣（静岡大学） [2]「プログラミングコンテスト敢闘賞決定について」 関谷和之（静岡大学） [3]「OR学会賞の変遷と学生論文賞のOR的選考方法」 山下英明（首都大学東京） [4]「学生のレベルを底上げするために—柳浦研の場合」 柳浦陸憲（名古屋大学） [5]「データ解析コンペティションへの挑戦」 中田和秀（東京工業大学） 参加者：28名
支部研究講演会	2017/12/23	大阪大学中之島 センター	テーマ：「まちづくりの統計学」 [1]「地域統計の作成と分析利用の現状と課題—地域データの活用 に向けて—」芦谷恒憲（兵庫県企画県民部・兵庫県立大学） [2]「人口減少にGISデータを活かす」 長谷川普一（新潟市都市政策部） [3]「観光を「見える化」して外国人観光客を誘致する」 大井達雄（和歌山大学） 参加者：25名
関西支部 編集担当	2017/5/1		オペレーションズ・リサーチ「経営の科学」vol. 62 no. 5, 2017 特集「地方創生をORする—エビデンスを生かした戦略展開—」

5. 中国・四国支部

活動	年月日	場所	内 容
支部総会	2017/3/24	県立広島大学	平成28年度支部活動・決算の報告、 平成29年度支部役員・活動計画・予算の承認
SSOR	2017/9/7～8	広島県立中央森 林公園	広い意味でのOR研究（応用数学、経済・経営学、情報科学、経営 工学など）にかかわる研究者・実務家・大学生が中心となり、研究 討論や意見交換をする場を設ける目的で、1泊2日の合宿形式で開 催した（参加者47名）

支部シンポジウム	2017/11/25	鳥取大学	必ずしもORがバックグラウンドではない実務者や研究者、並びに学生に対して、適用事例を通してOR手法の魅力を知り、社会に役立つORを実感してもらう機会を作ることを目的として、セミナー形式のシンポジウムを開催した（参加者26名）
支部研究部会	2017/5/12 2017/6/21 2017/7/3 2017/7/18 2017/11/17	県立広島大学 鳥取大学 鳥取大学 岡山コンベンションセンター 県立広島大学	部会名「プロジェクトマネジメントと品質経営」 主催講演会：2件（6/21・7/3開催分）（講師2名） 協賛講演会：3件（講師3名）
支部研究部会	2017/6/10 2017/12/9	広島工業大学 広島工業大学	部会名「SCM&サービス工学」主催講演会：2件（講師3名）
支部研究部会	2017/7/14 2018/1/23 2018/2/8	徳島大学 徳島大学 徳島大学	部会名「ORと数学」 主催講演会：3件（講師5名）
講演会	2017/3/24 2017/7/21 2017/8/10 2017/12/12 2017/12/16	県立広島大学 広島大学 広島大学 鳥取大学 県立広島大学	講師：谷崎隆士（近畿大学） 講師：Vidhyashree Nagaraju and Lance Fiondella（University of Massachusetts Dartmouth） 講師：Kishor S. Trivedi（Duke University） 講師：Liping Fang（Ryerson University） 講師：伊藤弘道（鳥取大学）
			その他、協賛事業3件

6. 九州支部

活動	年月日	場所	内容
総会	2017/3/27	九州大学 西新プラザ	H28年度活動報告、H29年度活動計画、14名参加
講演会	2017/3/27	九州大学 西新プラザ	「超高次元データの統計解析における最適化問題」廣瀬 慧（九州大学）、14名参加
講演会	2017/7/15	福岡大学	「研究者の業績を評価する指標への公理的接近」近郷 匠（福岡大学）、12名参加
研究会	2017/7/15	福岡大学	「自律的集散のためのモバイルエージェント移動アルゴリズム」柴田将拡（九州工業大学）、12名参加
支部事業 （交流会）	2017/10/28～29	福岡工業大学 FITセミナーハウス	1泊2日合宿形式の九州地区における若手研究者中心の交流会、16件の研究発表、39名参加
講演会	2017/10/28	福岡工業大学 FITセミナーハウス	「きょうだいを考慮した保育所マッチングと展開形ゲーム」吉良知文（群馬大学／九州大学）、39名参加
講演会	2017/12/2	長崎大学	「データサイエンスと統計学：研究を顧みる」江島伸興（京都大学）、10名参加
研究会	2017/12/2	長崎大学	「ディープラーニングの経済分野への応用の可能性」池田欽一（北九州市立大学）、10名参加

【会議】

1. 通常総会

開催年月日	議事事項	結果
2017.04.27 (一財)電力中央研究所	1. 2016年度事業報告の件 2. 2016年度収支計算報告および監査報告の件 3. 2017年度－2018年度役員承認の件	承認 〃 〃

2. 理事会（略）

【役員】

理事（非常勤）

定数：12人から18人（現在18人）

任期：2年

幹事（非常勤）

定数：2人（現在2人）

任期：2年

【職員】（略）

【会員状況】

1. 2017年度通算（2017/03/01～2018/2/28）

	名誉会員	正会員	学生会員	賛助会員A	賛助会員B	合計
2017.03.01	13	1634	261	33 (41)	17 (17)	1958
入会		48	95	2	1	146
退会		▲ 102	▲ 81	▲ 2	▲ 1	▲ 186
資格喪失		▲ 10				▲ 10
移動	学→正	32	▲ 32			
	正→学	▲ 2	2			
	正→名					
今年度増減	0	▲ 34	▲ 16	0	0	▲ 50
今次承認を含む 2018.2.28現在	13	1600	245	33 (41)	17 (17)	1908

（ ）内は口数

2. 支部別会員数

支部	名誉会員	正会員	学生会員	賛助会員A	賛助会員B	合計
北海道		45	1			46
東北	1	46	19			66
中部		147	17	1		165
関西	2	228	18	5		253
中国・四国		81	5	1		87
九州		78	19			97
本部	10	975	166	26	17	1194
今次承認を含む 2018.2.28現在	13	1600	245	33	17	1908

2017年度決算報告および監査報告の件

貸借対照表

平成30年2月28日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	27,836,286	33,504,086	△ 5,667,800
未収会費	662,400	612,000	50,400
未収金	1,124,355	744,341	380,014
前払金	256,607	256,607	0
前払費用	18,450	21,490	△ 3,040
仮払金	500,000	500,000	0
流動資産合計	30,398,098	35,638,524	△ 5,240,426
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当資産	1,524,000	1,470,800	53,200
名簿作成準備積立金資産	500,000	500,000	0
国際協力積立金資産	15,000,000	15,000,000	0
表彰事業積立金資産	7,000,000	7,000,000	0
OA化積立金資産	8,380,000	8,380,000	0
OR事典積立金資産	4,000,000	4,000,000	0
近藤賞基金引当資産	9,000,000	9,000,000	0
公益事業充当資産	20,000,000	20,000,000	0
創立60周年記念事業準備資産	11,385,507	16,128,353	△ 4,742,846
若手OR研究者育成基金	9,100,210	10,800,110	△ 1,699,900
助成事業積立資産	5,000,000	5,000,000	0
リース資産	843,084	841,451	1,633
特定資産合計	91,732,801	98,120,714	△ 6,387,913
(2) その他固定資産			
保証金	950,400	950,400	0
その他固定資産合計	950,400	950,400	0
固定資産合計	92,683,201	99,071,114	△ 6,387,913
資産合計	123,081,299	134,709,638	△ 11,628,339
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	4,296	8,296	△ 4,000
未払費用	408,384	405,651	2,733
前受金	1,408,000	1,734,000	△ 326,000
前受会費	19,393,000	19,514,643	△ 121,643
預り金	67,064	89,392	△ 22,328
未払消費税等	0	1,502,400	△ 1,502,400
流動負債合計	21,280,744	23,254,382	△ 1,973,638
2. 固定負債			
退職給付引当金	1,524,000	1,470,800	53,200
リース債務	1,623,600	1,007,964	615,636
固定負債合計	3,147,600	2,478,764	668,836
負債合計	24,428,344	25,733,146	△ 1,304,802
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	5,000,000	5,000,000	0
指定正味財産合計	5,000,000	5,000,000	0
(うち特定資産への充当額)	(5,000,000)	(5,000,000)	(0)
2. 一般正味財産	93,652,955	103,976,492	△ 10,323,537
(うち特定資産への充当額)	(85,208,801)	(91,649,914)	(△ 6,441,113)
正味財産合計	98,652,955	108,976,492	△ 10,323,537
負債及び正味財産合計	123,081,299	134,709,638	△ 11,628,339

正味財産増減計算書

平成 29 年 3 月 1 日から平成 30 年 2 月 28 日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	8,695	24,512	△ 15,817
受取利息	8,695	24,512	△ 15,817
受取入会金	111,200	148,400	△ 37,200
受取正会員入会金収入	53,400	69,900	△ 16,500
受取学生会員入会金収入	57,800	78,500	△ 20,700
受取会費	27,522,643	28,220,600	△ 697,957
正会員受取会費収入	22,926,243	23,390,600	△ 464,357
学生会員受取会費収入	62,000	23,000	39,000
賛助会員受取会費収入	4,534,400	4,807,000	△ 272,600
事業収益	16,148,239	44,856,835	△ 28,708,596
受取販売収益	2,724,487	3,014,233	△ 289,746
受取研究発表参加収入	3,899,000	3,693,000	206,000
受取参加料	3,749,000	31,756,727	△ 28,007,727
受取広告料	4,435,880	5,082,140	△ 646,260
受取受託料	1,100,000	1,000,000	100,000
受取掲載料	28,000	205,000	△ 177,000
受取著作権料	211,872	105,735	106,137
受取補助金等	425,000	363,902	61,098
受取寄付金	0	1,891,525	△ 1,891,525
受取寄付金	0	400,000	△ 400,000
受取寄付金振替額	0	1,491,525	△ 1,491,525
雑収益	12,729	11,444	1,285
受取利息	206	148	58
雑収益	12,523	11,296	1,227
経常収益計	44,228,506	75,517,218	△ 31,288,712
(2) 経常費用			
事業費	48,804,172	69,781,851	△ 20,977,679
給与手当	3,394,931	3,090,342	304,589
賞与	1,206,346	1,232,722	123,624
臨時雇賃金	3,301,082	5,611,983	△ 2,310,901
法定福利費	60,471	25,232	35,239
福利厚生費	9,000	0	9,000
旅費交通費	2,819,743	4,880,545	△ 2,060,802
通信運搬費	2,614,811	4,091,131	△ 1,476,320
退職給付費用	182,880	407,880	△ 225,000
消耗品費	1,657,724	3,382,274	△ 1,724,550
会議費	7,285,419	17,021,950	△ 9,736,531
印刷製本費	8,881,943	10,467,012	△ 1,585,069
賃借料	2,893,836	2,771,363	122,473
保険料	27,720	3,420	24,300
租税公課	433,100	1,502,400	△ 1,069,300
支払負担金	0	2,851,640	△ 2,851,640
諸謝金	8,102,058	5,829,691	2,272,367
委託費	4,986,396	4,105,235	881,161
支払手数料	337,348	1,495,405	△ 1,158,057
減価償却費	240,960	269,714	△ 28,754
貸倒損失	115,200	92,160	23,040

雑費	253,204	799,752	△ 546,548
管理費	5,248,709	4,054,569	1,194,140
給与手当	377,208	343,368	33,840
賞与	134,038	120,302	13,736
臨時雇賃金	289,486	323,734	△ 34,248
法定福利費	6,719	2,803	3,916
福利厚生費	1,000	0	1,000
旅費交通費	499,128	630,204	△ 131,076
通信運搬費	53,762	38,881	14,881
退職給付費用	20,320	45,320	△ 25,000
消耗品費	20,374	94,950	△ 74,576
会議費	323,267	310,285	12,982
印刷製本費	1,281,133	19,494	1,261,639
広告宣伝費	3,240	0	3,240
賃借料	321,528	307,921	13,607
保険料	3,080	380	2,700
租税公課	800	5,100	△ 4,300
水道光熱費	223,569	227,709	△ 4,140
委託費	368,928	212,262	156,666
支払手数料	35,474	24,505	10,969
支払報酬料	622,709	620,786	1,923
諸会費	426,157	495,477	△ 69,320
減価償却費	26,773	29,968	△ 3,195
貸倒損失	172,800	138,240	34,560
雑費	37,216	62,880	△ 25,664
経常費用計	54,052,881	73,836,420	△ 19,783,539
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 9,824,375	1,680,798	△ 11,505,173
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 9,824,375	1,680,798	△ 11,505,173
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
リース資産除却損	499,162	0	499,162
経常外費用計	499,162	0	499,162
当期経常外増減額	△ 499,162	0	△ 499,162
当期一般正味財産増減額	△ 10,323,537	1,680,798	△ 12,004,335
一般正味財産期首残高	103,976,492	102,295,694	1,680,798
一般正味財産期末残高	93,652,955	103,976,492	△ 10,323,537
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	0	△ 1,491,525	1,491,525
当期指定正味財産増減額	0	△ 1,491,525	1,491,525
指定正味財産期首残高	5,000,000	6,491,525	△ 1,491,525
指定正味財産期末残高	5,000,000	5,000,000	0
III 正味財産期末残高	98,652,955	108,976,492	△ 10,323,537

2018-2019年度役員承認の件**会務役職**

会 長

副 会 長

庶 務

国 際

研究普及

編 集

会 計

渉 外

広 報

支 部

大 会

無 任 所

監 事

非改選役員

吉瀬章子 (筑波大学)

堀田多加志 (日立製作所 (株))

今堀慎治 (中央大学)

武田朗子 (統計数理研究所)

塩浦昭義 (東京工業大学)

猿渡康文 (筑波大学)

中山 明 (福島大学)

田地宏一 (名古屋大学)

小沢利久 (駒澤大学)

新役員

齊藤 裕 (ファナック (株))

木村俊一 (関西大学)

鳴谷あゆみ (東京ガス (株))

松本和宏 ((株) 富士通研究所)

村松正和 (電気通信大学)

堀田敬介 (文教大学)

椎名孝之 (早稲田大学)

藤本 衡 (東京電機大学)

土肥 正 (広島大学)

Zhan Ping (江戸川大学)

大城直人 ((株) 金融工学研究所)